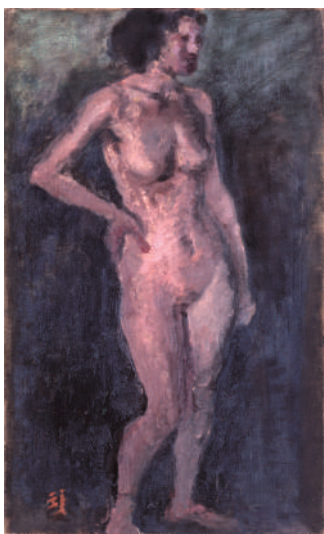




【上】須田国太郎《風景》  
1946-47年 キャンバス・油彩



【左】須田国太郎《裸婦》  
1957年 キャンバス・油彩

【下】須田国太郎が留学時に  
使用したトランクと帽子、  
および普段使用していた  
パレットや絵筆



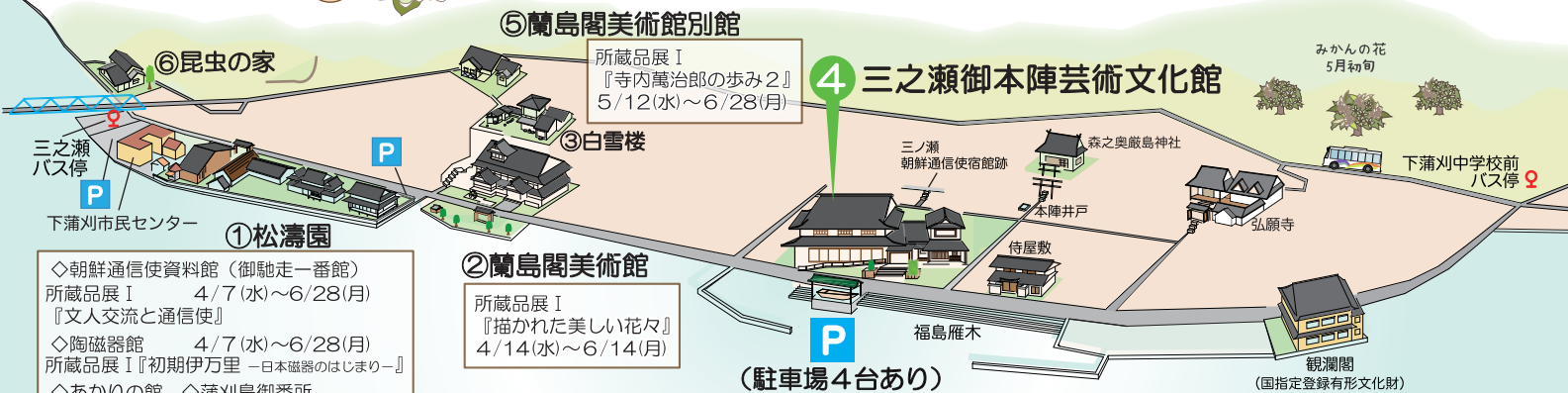
須田国太郎は 1891（明治 24）年に京都で生まれ、美術史家としても活躍した異色の洋画家です。須田ははじめ、京都帝国大学（現・京都大学）において美学・美術史を学び、「写実主義」や「絵画の理論と技巧」をテーマに研究に励みました。19 歳頃から独学で油絵を始めていましたが、26 歳の時に関西美術院に入学し、大学院での研究と並行してデッサンなどを学びました。28 歳でスペインに留学し、そこでベネチア派の作品などの模写を通じ、ルネサンス以降の油絵の歴史と実践（実技）を研究しました。帰国後しばらくは、講師として美術史を教えていましたが、41 歳で初めて開いた個展を機に画壇デビューを果たします。1934（昭和 9）年からは独立美術協会を活動の中心に据え、画家として、時に美術史家としても精力的に活躍しました。須田は、自宅近くの京都市動物園に足繁く通ったり、芸備地方を含めた日本各地へ写生旅行に出かけるなど、1961（昭和 36）年に亡くなるまでさまざまな画題の制作に取り組み続けました。

当館は 2004（平成 16）年の開館以来、須田国太郎の常設展示館として、さまざまな視点から須田の作品や人物像をご紹介します。今年は須田の生誕 130 年および没後 60 年の節目の年です。本展では、若き留学時代から晩年までの油彩画をはじめ、水墨画や水彩画、スケッチなど、当館所蔵の須田国太郎の作品を一堂に展示し、須田国太郎が見つめた世界をご紹介します。また、画伯が常用した画材や、スペイン留学で使用した旅行カバン、日常的に愛用した遺品などもあわせてご紹介します。



須田国太郎 1921 年 30 歳  
スペイン留学中にイタリア・ボンペイを訪れた時の写真

## 散策マップ



### 新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお客様へのお願い

- 発熱や咳・のどの痛みなどの風邪症状が軽度でもある場合は、ご来館をお控えください。
- ご入館の際は、マスクの着用をお願いいたします。
- 入館時の検温にご協力下さい。● 入館時に手指の消毒をお願いします。
- 新型コロナウイルス感染状況によっては、開館情報に変更が生じる場合がございます。ホームページ等で最新の情報をご確認のうえ、ご来館ください。

### 三之瀬御本陣芸術文化館周辺の見どころ！

#### ◇武者窓と腰板



江戸時代の貴重な武者窓と腰板が、当館の外装の一部として保存されています。

#### ◇福島雁木



江戸初期に福島正則がつくった船着き場。参勤交代の西国大名や朝鮮通信使もここから上陸しました。

### 広島市内から車で約 60 分

呉市内より国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋（有料）を渡った最初の島が下蒲刈です。当館前の駐車場が満車の場合、下蒲刈市民センター前の駐車場をご利用ください。

指定施設にて1,000円以上ご利用の方に安芸灘大橋の帰りの通行券を進呈！詳しくは、くれ観光情報プラザ TEL0823-23-7845 まで

### 広島市内からバス利用の場合

広島バスセンター（6番のりば 豊島・沖友天満宮行き）から「下蒲刈中学校」下車。または「見戸代橋」下車、接続のバスに乗り換え「三之瀬」下車。（所要時間約1時間50分）

### JR 呉市内から電車・バス利用の場合

J R 呉線で広島または仁方駅で下車。駅前バス停から瀬戸内産交連行の豊島・沖友天満宮行きのバスに乗車。「下蒲刈中学校」または「三之瀬」を下車。バスは上下線とも毎時1本運行しています。

【バスに関するお問い合わせ】瀬戸内産交株式会社 さんようバス株式会社 ☎0823-70-7051 ☎0823-65-3531

三之瀬御本陣芸術文化館  
Instagram & Facebook



Instagram



Facebook



上記 QR コードよりアクセスできます！

